

公開シンポジウム  
「現代日本におけるワークライフバランスを考えるー関西からの発信ー」  
の開催について

- 1 主 催 日本学術会議経済学委員会ワークライフバランス研究分科会、  
大阪経大学会
- 2 共 催 社会政策学会
- 3 日 時 平成25年10月12日（土）18時00分～20時00分
- 4 場 所 大阪経済大学 B号館32教室（大阪市東淀川区大隅2-2-8）

5 開催趣旨

ワークライフバランスに社会的な関心が集まってから、行政、企業をはじめ、さまざまなレベルで活発な動きがみられている。とりわけ、企業における取り組みは現在の到達段階を示すものとして注視する必要がある。今回のシンポは、正規のみならず非正規で働く人々にまで視野を広げ、ワークライフバランスの真の実態にまで迫ろうとする狙いをも有している。ワークライフバランスを本当に意義あるものとするためには、その浸透度の広さ、深さを追求しなければならない。中小企業を多く抱える関西・大阪で本テーマを議論することは、ワークライフバランスの今後を考えるうえで有益である。

6 次第

司 会 玉井金五（日本学術会議連携会員、大阪市立大学大学院  
経済学研究科教授）

報告1 「非正規のワークライフバランス」  
西村智（関西学院大学経済学部教授）

報告2 「ワークライフバランスと企業の施策」  
服部良子（大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授）

コメテーター

川口章（同志社大学政策学部教授）

久本憲夫（日本学術会議連携会員、京都大学公共政策大学院教授）

事前登録不要、参加費無料

問い合わせ先：[tamai@econ.osaka-cu.ac.jp](mailto:tamai@econ.osaka-cu.ac.jp)

大阪市立大学大学院経済学研究科 玉井 金五